

「地域課題分野」(平成27年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
四万十川における治水とスジアオノリの生育環境創出を両立させる河道管理技術の構築 (研究期間：H27年～H29年)	高知工業高等専門学校 岡田 将治	A
<研究概要> 四万十川下流部では河床が堆積傾向にあり、スジアオノリの主な生育域が減少して収穫量が激減している。申請する研究では、近年の土砂動態とスジアオノリの生育分布の関係、スジアオノリの繁茂・非繁茂域における水深、水温、塩分濃度の時空間変動特性、出水時の流況・河床変動特性を現地観測から明らかにし、それを再現できる河床変動解析モデルを構築して、治水およびスジアオノリをはじめとする生態環境の保全・創出に関する課題を両立させることのできる河道改修方法を提案する。		
<事後評価コメント> 河床形状とスジアオノリの生育環境の関係が明らかにされ、河川環境の再生に関する科学的な知見が得られていることから、研究目的は達成され十分な成果があったと言える。今後は、スジアオノリの生育環境と塩分濃度、水温といった個別の環境因子との関係を明らかにするとともに、他の河川へ水平展開させることが必要である。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い